



にじいろ通信 No.49

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL:niji-iro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

春の陽気に子どもたちのワクワクは止まらない。

未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!

「春のひと時に思う」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

桜の開花宣言が例年よりも早く出されてから、あっという間に春がやってきました。外出するのが楽しみな季節となりました。先日、羽生の水郷公園に出かけた時の話しです。到着後、一目散に遊具に向かって走り出す子どもたち。私はある児童について行動しました。彼は遊具には目もくれずに、花のトンネルを抜けて、池のほとりまでリズムカルに走ります。楽しいのかな?スキップをしています。なので私も一緒にスキップ。「たのしいね。」時折私の方を振り返り待ってくれたり、手を引いて誘ってくれます。お花を指差して「かわいいね。」と言うと、笑顔で指をさして答えてくれます。ふかふかのホトケノザとオオイヌフグリの絨毯を自由に動いて春を全身で感じているようでした。そんな彼を見て、



今年もたくさんのジャガイモを植えました。種芋を切って植えるまで、様々な工程を行いました。僕たちに任せてと頼もしい子どもたちです。



3/24 加須未来館から加須スカイスポーツ公園までサイクリングに行ってきました。桜の咲く中、とても気持ち良かったです。



3/12 断面クイズを行いました。今回は答えをホワイトボードに書いて答えるルールです。一所懸命に画面を見て答えていました。ハイチュウの断面は難しかったです。

金子みすゞの「こだまでしょうか」という詩を思い出しました。3.11の震災後にテレビCMで使われ、知っている人も多いと思います。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。「馬鹿」というと「馬鹿」という。「もう遊ばない」というと「もう遊ばない」という。そして悲しくなって「ごめんね」というと「ごめんね」という。こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

この詩は言葉の力を伝えていると思っています。たった一言で相手を喜ばせることも、元気にさせることもできます。反対に傷つけてしまう事もあります。なので、相手の気持ちに寄り添い考えながら声をかける、話すということが大切だと気づかせてくれる詩です。きっと相手がお話しができなくても、こちらの言葉で、たくさんのサインを出してくれ、コミュニケーションが出来るんだと改めて感じた時間でした。



切った種芋に灰をつけます。初めてのことなのか、不思議な顔をしています。



美味しいジャガイモがたくさんできますように。「大きくなってね」と植えました。



じゃがいもを植えたあとは利根川の土手を散歩です。春風がとっても気持ちいいね。

- ★4月のにじいろの主な予定 1日:通所セレモニー(大地にて) 17日:にじいろクラブ「SL列車と長瀬ライン下りに乗ってみよう」 29日:夏野菜を植えよう。
- ★にじいろで欲しいもの レゴブロック ぶら下がり健康器
- ★ありがとうございました 平井様:お菓子 手島様:スイーツ